

# 地域経済動向調査報告

平成 29 年度 第 2 四半期（7～9 月）

調査対象期間 平成 29 年 7 月～平成 29 年 9 月

調査期間 平成 29 年 10 月 25 日～平成 29 年 12 月 6 日

調査方法 郵送により、別紙調査票にて実施

調査項目 DI 値（景気判断指数）使用

調査対象数 100 業所

抽出方法 当所会員名簿から、業種のバランスを考慮し抽出

回答数及び回答率

業種	配布数	回答数	回答率	回答構成比
全業種	100	67	67.0%	100.0%
製造・鉱業	23	16	70%	24%
建設	21	17	81%	25%
運送	7	5	71%	7%
卸・小売	31	17	55%	25%
飲食、サービス	18	12	67%	18%

※平成 29 年 12 月 15 日現在

## 1. 業況感

	国	県	江津市
7月	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	個人消費は緩やかに持ち直している	売上や業況についてほぼ横ばいの状況。
8月	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	ほか、生産活動も回復しつつある。雇用情勢も改善しており、人手不足感が広がっている。	一部好調な業種を除き、依然厳しい状態が続いている。
9月	景気は、緩やかな回復基調が続いている		

※内閣府「月例経済報告」、財務相松江財務事務所「島根県の経済情勢」参照

## 2. 業況

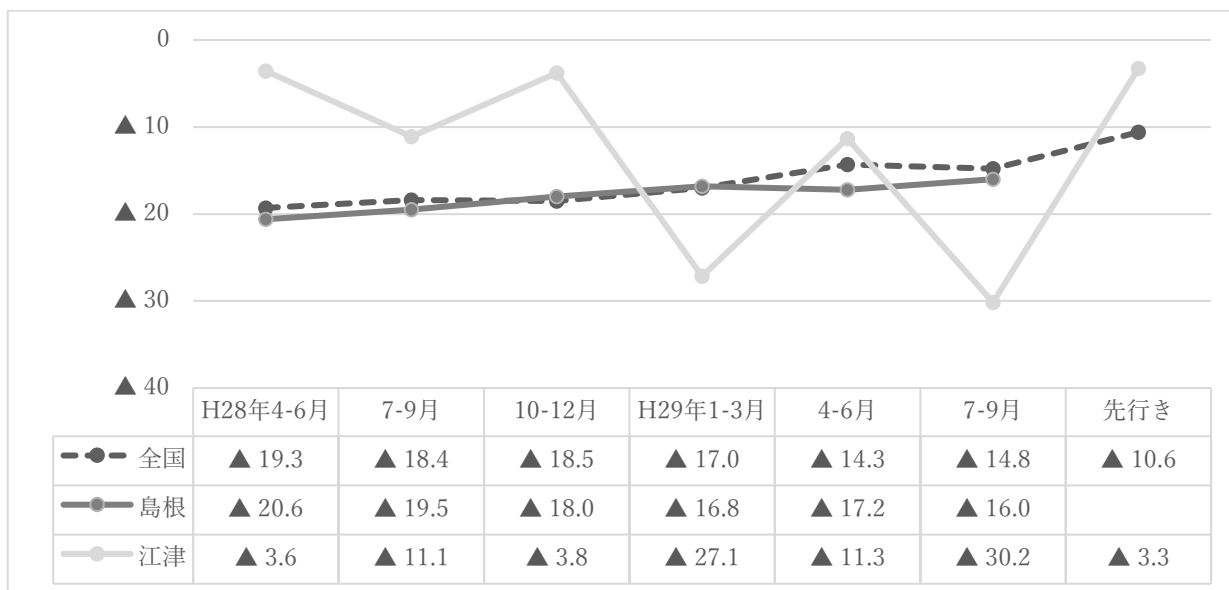
江津市の景気は、前回調査で鉄工、電子関連など一部製造業は業況が好転。今回調査でも好調は続いているが、状況が落ち着いた模様。前期「好転」と回答した事業者で今回は「不変」と回答した者が多かった。

一方で卸小売業は業者間競争の激化や高齢化による顧客減を受けており、建設業・運送業の業況も引き続き悪化していることから前回調査▲11→今回調査▲30 とマイナス幅が広がっている。先行きではマイナス幅が解消されているが現在の悪化している状況が変わらないという内容が多く、明るい見通しではない。

### (1) 業種別の業況 D.I. (各期間比較)

	当期間と前の 3カ月間との比較	当期間と前年 同期間との比較	当期間と比較した 向こう3カ月間の 先行き見通し
全体	▲ 30	▲ 26	▲ 3
製造業	▲ 24	0	12
建設業	▲ 27	▲ 47	▲ 23
運送業	▲ 60	▲ 40	▲ 20
卸小売業	▲ 40	▲ 35	0
飲食・サービス業	▲ 18	▲ 17	0

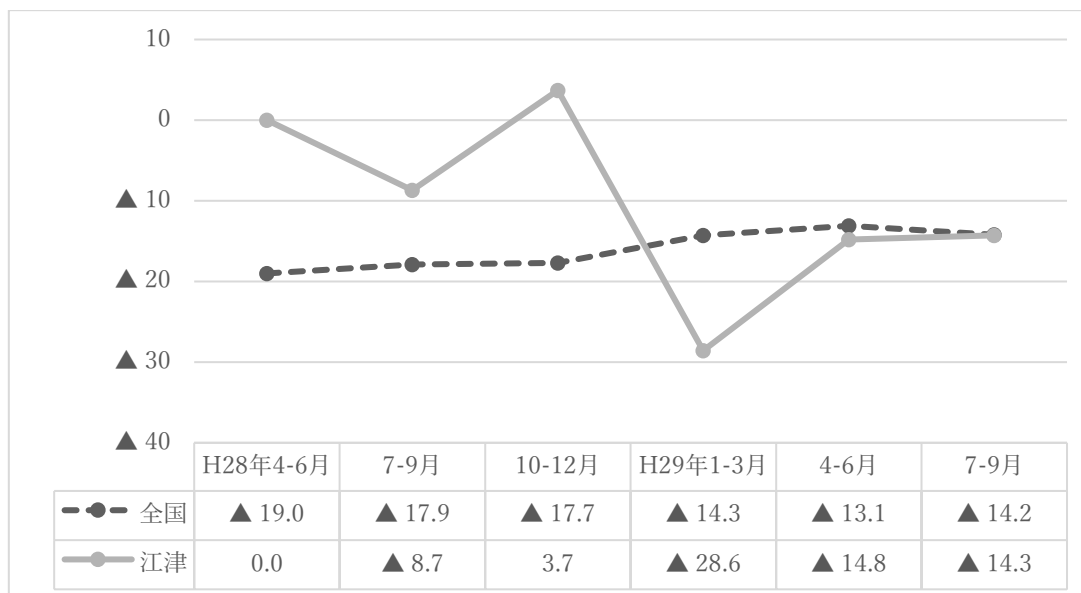
## (2) 業況 D.I.の推移 (前期比)



## 3. 売上

### (1) 売上 D.I.の推移 (前期比)

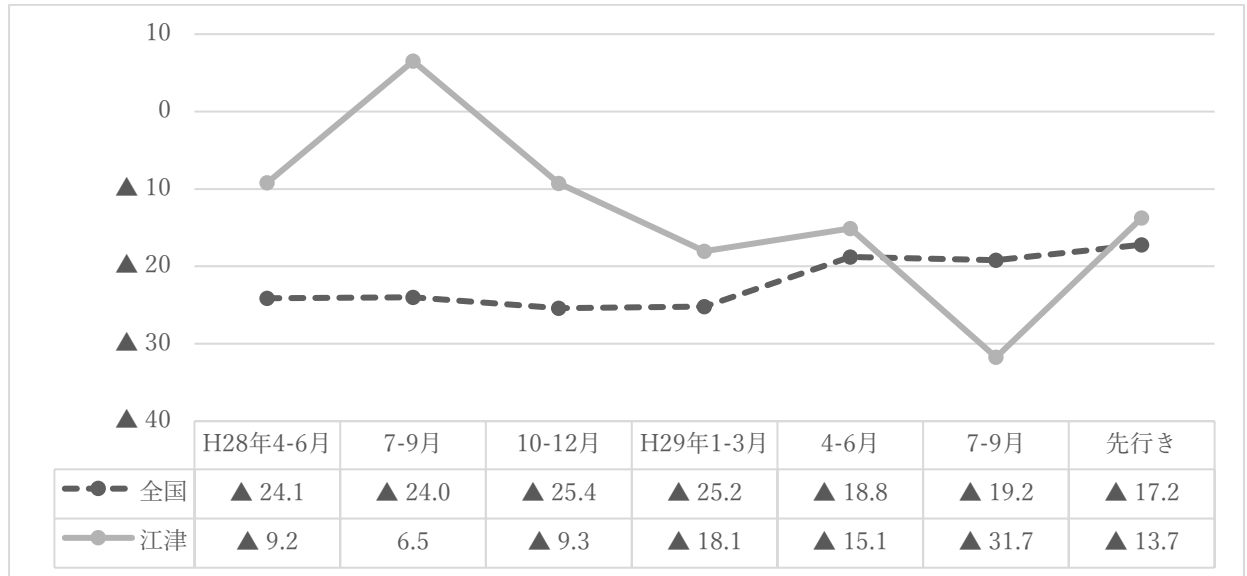
売上は緩やかに持ち直しの状況がみられる。特に運送業においては前年同期と比べると▲60→40 と大幅に好転しており、これには全国的な配送料の値上げが影響していると推察する。



#### 4. 採算

##### (1) 採算 D.I.の推移（前年同期比）

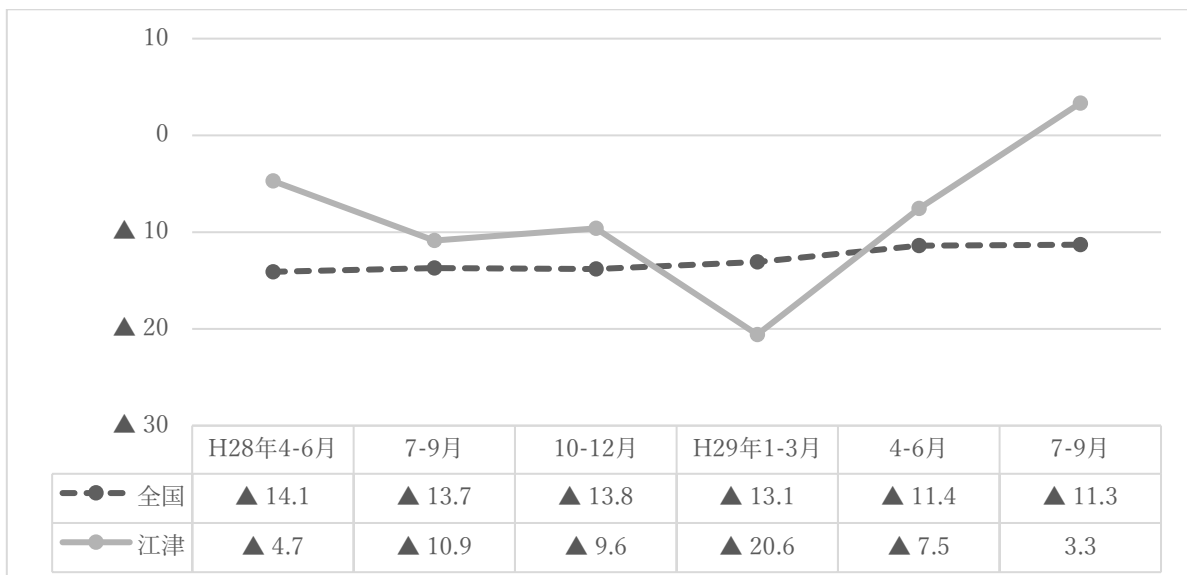
採算は前年同期と比べるとマイナス幅が広がっている。前年は4月に熊本地震のため製造業で一部需要増となっていたことと、豪雨災害の復旧工事が若干残っており建設業の下げ幅が緩やかであったこともあり、本年はマイナス幅を拡げている。



#### 5. 資金繰り D.I

##### (1) 資金繰り D.I.の推移（前期比）

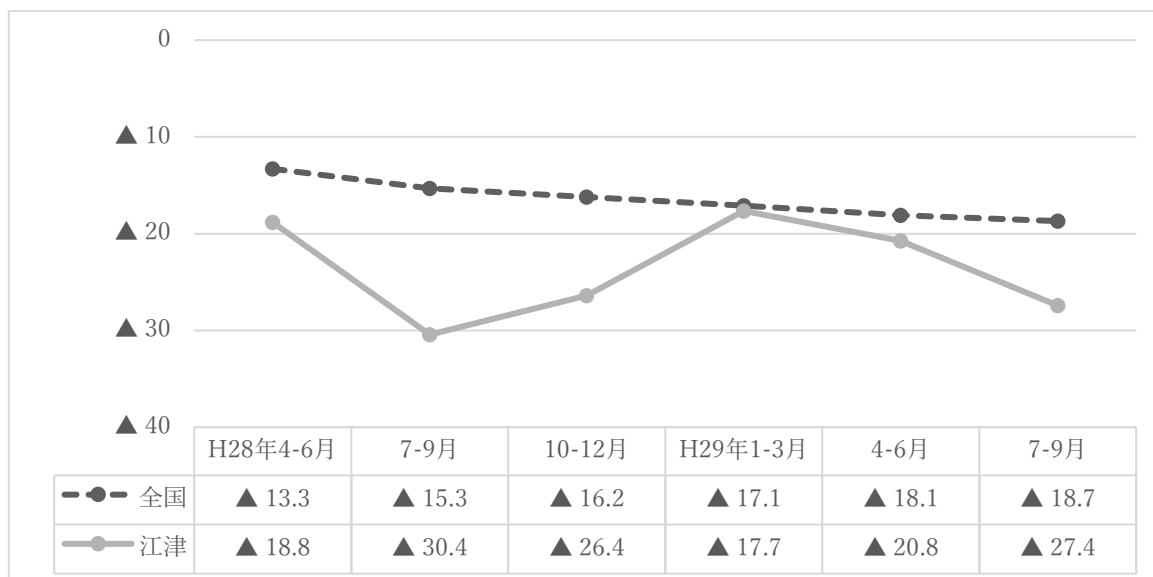
資金繰りについては全業種を通し、不変と回答した事業所が多く、資金繰り難易度は緩やかに持ち直している。



## 6. 雇用 D.I.

### (1) 雇用 D.I.の推移

全国的に人で不足感が広がっているが、江津市も同様。特に建設業では退職者が出た後の雇用に難航している。製造業も需要はあるが人手が足りず、生産数を調整するほかないというコメントが目立った。



## 7. 在庫 D.I.

### (1) 在庫 D.I.の推移

